

2 学年

実践例

ほけん室の先生の一日をしょうかいしよう！！

「どうぶつ園のじゅうい」学しゅうのながれ

(ぜんぶで9時間)

ほけん室の先生の一日を しょうかいしよう！

1 学しゅうのめあてやながれをつかもう。

☆「じゅういさん」はどんなしごとをしているのかな。
「どうぶつ園のじゅうい」を読んだかんそうを書こう。

2 じゅういさんは、いつ・どんなしごとを しているのかな。

☆文しょうを に分けよう。

☆☆時をあらわすことばに気をつけて、
じゅういさんが「いつ」「どんな」しごとをしたかをまとめよう。



☆ と に分けよう。

☆ のわけをまとめよう。

☆ のくふうをまとめよう。

3 ほけん室の先生の一日をしょうかいしよう。

☆「ほけん室の先生の一日」に書くことをきめよう。

☆「ほけん室の先生の一日」をまとめよう。

第2学年 国語科学習指導案

1. 単元名「ほけん室の先生の一日をしょうかいしよう」
教材名「どうぶつ園のじゅうい」(光村図書 二上)

2. 本単元で付けたい力

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 【C(1)イ】
- 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 【B(1)イ】
- 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。 【伝国(1)イ(ウ)】

3. 単元について

単元観

○本単元は、最後に「ほけん室の先生の一日をしょうかいしよう」という活動を位置づけた。時間的な順序を考えながら養護教諭の一日を紹介することを通して、簡単な構成の文章を書かせたい。

○本教材は、「はじめ」に話題提示、「中」に獣医の仕事の内容、「おわり」にまとめの文章が示されている。3つのまとまりで構成されており、説明文の典型とも言える。また、「中」の文章は時間的な順序に沿って、獣医の仕事とそのわけや、仕事をするときの工夫を説明している。仕事の内容は、「毎日する仕事」と「ある日した仕事」の2種類あり、事柄の順序にしたがって文章がわかりやすく展開されている。

児童観

○省略

指導観

○第1次では、「どうぶつ園のじゅうい」を読み、感想を交流する。その際、獣医は「だれのために仕事をするのか」ということをおさえたい。また、教材に関わる本を紹介し、児童の読書の幅を広げることに繋げていく。

○第2次では、まず本文を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分ける。次に時を表す言葉を手掛かりにして、筆者が「いつ」「どんな仕事をしたのか」をまとめる。そしてその仕事は「毎日する仕事」と「ある日した仕事」のどちらになるのかを考えさせる。「毎日する仕事」は、なぜ毎日するのか、「ある日した仕事」はどのような工夫があるのかを読み取っていく。工夫については、7段落の日記に書くことに繋がっていることに気付かせたい。

本時には、獣医さんの仕事は毎日するのかを、インタビュー形式で話し合う。その活動を通して、教科書の言葉をもとに自分の考えを述べさせるようにする。

○第3次では、本校の養護教諭へのインタビューを行い、「ほけん室の先生」の文章をまとめさせる。獣医さんの仕事と共通する部分が多い養護教諭の仕事を「いつ」「どんな仕事」をしたのかを書くことで、これまでの学習の活用場としたい。

4. 単元構想（単元計画と評価）

単元の目標

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、獣医の仕事やそのわけと工夫を読み取ることができる。
- 養護教諭の一日がわかりやすくなるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・書かれている事柄の順序に気付いたり、獣医の仕事について想像を広げたりして読もうとしている。	・養護教諭の一日がわかりやすくなるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。【B（1）イ】	・時間的な順序や事柄の順序を考えながら、獣医の仕事やそのわけと工夫を読んでいる。【C（1）イ】	・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づいて、文や文章を読んでいる。【伝国（1）イ(ウ)】

指導と評価の計画（全9時間）

		学習内容	評 価				評価方法	
			関	書	読	言		評価規準
第一 次	1	○「どうぶつ園のじゅうい」を読み、感想を交流する。	◎				・「どうぶつ園のじゅうい」を読み、獣医の仕事について興味をもっている。	ノート 発表
	2	○文章を「はじめ」「中」「おわり」に分ける。			◎		・本文は「獣医の仕事」について書いていることに気付く、文章を3つに分けている。	ノート 観察
第二 次	3 4	○時を表す言葉に着目し、筆者が「いつ」「どんな仕事をしたか」をまとめる。			◎		・時を表す言葉を見つけ、筆者が「いつ」「どんな仕事をしたか」を本文から読んでいる。	ノート 観察
	5 (本 時)	○書かれている仕事は「毎日する仕事」か「ある日だけした仕事」かを考え、答える。			◎		・獣医さんの仕事を、毎日するのかある日だけしたのかを、理由を添えて説明している。	ノート 観察
	6	○「毎日する仕事」を読み、そのわけをまとめる。			◎		・2, 7, 8 段落には「毎日する仕事」が書かれていることに気付く、そのわけを読んでいる。	ノート 観察
	7	○「ある日した仕事」を読み、その工夫をまとめる。			◎		・3, 4, 5, 6 段落の「ある日した仕事」を読み、その工夫を見つけている。	ノート 観察
	8 9	○養護教諭にインタビューをして、「ほけん室の先生」をまとめる。		◎		○	・学校での一日がわかりやすくなるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	紹介カ ード

5. 本時の指導 (5/9)

(1) 目標

○書かれている仕事は「毎日する仕事」か「ある日だけした仕事」かを考え、答えることができる。

(2) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆獣医さんの仕事を、毎日するのがある日だけしたのかを、理由を添えて説明している。

- ・はい。さるの怪我が治るまでは毎日薬を飲ませます。
- ・いいえ。赤ちゃんがいることはもう分かっているので、ある日だけしました。
- ・ペンギンにボールペンを吐き出させる仕事は、毎日しません。この日だけ起こったことで、ペンギンは毎日ボールペンを飲み込むのではないからです。

A 十分満足できる状況

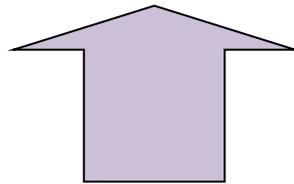
◇獣医さんの仕事を、毎日するのがある日だけしたのかを、自分の経験を添えて説明している。

- ・はい。お腹の中の赤ちゃんの様子を調べるために、赤ちゃんが生まれるまでは毎日します。人間のお母さんも、何度も病院へ行ってお腹の中を見てもらうからです。
- ・はい。さるの怪我が治るまでは毎日薬を飲ませます。人間が、風邪が治るまでは薬を飲み続けるのと同じです。
- ・ペンギンにボールペンを吐き出させる仕事は、毎日しません。この日だけ起こったことで、ペンギンは毎日ボールペンを飲み込むのではないからです。僕の弟も、あめを飲み込んだことがあったけれど、あれからは飲み込んでいないからそう考えました。

(3) 本時における研究主題の追究

本時における深い学び

「毎日する仕事」と「ある日だけした仕事」を考えることで、段落と段落の内容を比較すること



【主体的な思考を促す発問・指示の工夫】

「獣医さんの仕事は、毎日しますか」の発問で、自己判断を迫り主体的な思考を促す。

《軸となる本時の言語活動》
獣医役とインタビュアー役に分かれて、獣医さんの仕事を毎日するのかを考える。

【思考を深める工夫】

・7つの仕事を一覧できるように、黒板に掲示した表にまとめ、視覚化していく。

(4) 展開

	学習活動	○主な発問や指示・児童の姿	◎支援 ◆評価 (評価方法)
つかむ (5分)	1 前時を振り返り, 学習内容を確認する	○昨日は獣医さんがいつ・どんな仕事をするのかをまとめましたね。その仕事は, 毎日しますか。今日は, 獣医さんになりきって, 考えてみましょう。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>本時の課題</p> <p>「毎日するしごと」と「ある日したしごと」を分けよう。</p> </div>			
考える (5分)・学び合う (25分)	2 考えをまとめ, 交流する (1) 音読をする (2) 個人思考 (3) 獣医役とインタビュアー役に分かれて, 考えを伝え合う。 (4) 全体学び	○その仕事は毎日するのかある日だけしたのか, 考えながら音読しましょう。 ○いのししのお腹に機械を当てる仕事と, にほんざるに薬を飲ませる仕事は, 毎日しますか, ある日だけしましたか。そのわけも書きましょう。 ○獣医役とインタビュアー役に分かれて, 考えを伝え合います。 ・獣医さん, さるに薬を飲ませる仕事は, 毎日しますか。→はい。さるの怪我が治るまでは毎日薬を飲ませます。 ・いのししのお腹に機械を当てる仕事は, 毎日しますか。→いいえ。赤ちゃんがいることはもう分かっているから, ある日だけしました。 →はい。お腹の中の赤ちゃんの様子を調べるために, 赤ちゃんが生まれるまでは毎日します。人間のお母さんも, 何度も病院へ行ってお腹の中を見てもらったからです。 ○他の仕事は毎日しますか, ある日だけしましたか。 ・動物園の中を見回る仕事は, 毎日します。毎日して, 動物たちの様子をよく見ておかないといけないから。毎日しないと, 動物たちに声や顔を覚えてもらえないから。 ・ペンギンにボールペンを吐き出させる仕事は, 毎日しません。この日だけ起こったことで, ペンギンは毎日ボールペンを飲み込むのではないから。 ○「毎日する仕事」は, なぜ毎日しなければならないのですか。 ・見回りを毎日しなければ, 動物を怖がらせたり病気に気づかなかつたりするから, 毎日しなければいけません。 ・お風呂に入らなければ, 病気のもとになるものを動物園の外に持ち出してしまうかもしれないから毎日しなければいけません。	◎本文の内容や自分の知識と経験をもとにノートに考えを書かせる。 ◎インタビュー形式で話し合わせることで, 活発な意見交換を促す。インタビューをスムーズに行えるように, 話型を提示する。 ◎本文だけでなく, 経験や自らの知識からも意見を出せるように, 多様な意見が予想される, さるといのししの段落から話し合わせる。 ◎7つの仕事を一覧できるように, 黒板に掲示した表にまとめ, 視覚化していく。 ◎「毎日する仕事」を毎日しなければ, 動物や獣医さんが困ることがあることを考えさせる。 ◆獣医さんの仕事を, 毎日するのかある日だけしたのかを, 理由を添えて説明している。 【ノート・観察】
まとめる (10分)	3 本時を振り返り, 学習のまとめをする	○今日勉強したことについて, 学んだことや気が付いたことを書きましょう。 ・獣医さんの仕事には, 日記を書いたりお風呂に入ったり「毎日する仕事」と, 突然起こる病気や怪我を治す「ある日した仕事」があることが分かりました。 ・見回りやお風呂は毎日しなければ動物を怖がらせたり病気をうつしたりするのでとても大切な仕事だとわかりました。	

6. 本時の様子

(1) 中心活動の様子

① 話型をもとに、自分の意見をノートに書く。

【学習活動2 (2)】



【いのししとさるの事例について】
「獣医さん、その仕事は毎日しますか？」という質問に、
ア「毎日します。わけは・・・」
イ「毎日しません。わけは・・・」
のどちらかの形で答えをノートに書く。

さるにくすりのをませるしごとは毎日します。わけは、一回くすりのをのんでも、けががなおらないからです。

② 考えたことをもとにインタビュー形式でお互いの意見を交流する。【学習活動2 (3)】

獣医さん、その仕事は、毎日しますか？



いのししの赤ちゃんをみる仕事は毎日します。出産は大変だから、赤ちゃんが生まれるまでしますよ。

獣医さん役とインタビュアー役に分かれ、インタビュー形式での話し合いの場を設けた。

④ 全体で意見を交流する。

【学習活動2 (4)】



どうぶつ園の中を見回る仕事は、毎日します。もしなかったら、どうぶつたちに顔や声をおぼえてもらえなくて、怖がらせてしまうかもしれないからです。



ここまで話し合った、いのししとさるの二つの事例以外の仕事は、毎日するかどうかを話し合う。

ペンギンの仕事は毎日しません。毎日ボールペンを飲み込まないからです。

(2) 本時の板書



(3) 中内先生から

○獣医さんはその仕事を毎日するのかしないのか、またそのわけを教科書から見つけることが大切です。子どもたちが教科書をしっかりと読んで、教科書を見ながら意見の交流をできるように、音読をこまめに入れるなど、教師側の手立てをしっかりと組みましょう。

7. 本校研究テーマとの関わり

(1) 主体的・対話的な思考を促す発問・課題の工夫

本單元では、思考を促すための工夫として「獣医さんの仕事は毎日しますか」という発問をした。獣医さんの7つの仕事の事例を「毎日する仕事」と、突発的な治療などの「ある日だけした仕事」の2種類に分ける学習活動は、事例を比較し内容をくわしく読む必然性を生んだ。

また本時では、インタビュー形式で話し合うという活動を設けた。これは、①インタビューを受ける獣医さん役と②インタビューをするインタビュアー役という役割を与えることで、子どもが役になり切って主体的に話し合い活動をできるようにすることを狙ったものである。

(2) 深い学びの見取り

本時の振り返りの中には以下のように、事例の内容を比較し詳しく読み取ったものもあった。主体的に段落と段落の内容を比較することができたととらえたい。

【子どもの振り返りより】

- ・毎日するしごとは、見回りをすることと日記を書くこととおふろに入ることだとわかりました。
- ・毎日するしごとは、どうぶつのためにしているのだと思いました。見回りをしないと、どうぶつをこわがらせるし、日記を書くと、つぎに同じようなことがあったときにやくだつからです。
- ・どうぶつの体には、びょうきのもとになるものがついていて、毎日おふろに入って、おきやくさんにもあんしんして来てもらえるようにしていると思いました。

8. 本時後の実践

- (1) 「毎日する仕事」と、「ある日した仕事」の工夫やわけを考える。(6, 7/9時間)
教科書の工夫やわけの分かる箇所に線を引き、段落ごとにまとめました。

【子どものノートより】

- ・いのししがこわがらないように、しいくいんさんがえさをたべさせ、その間に、そっと当ててみました。
- ・三回くふうをして、やっと、いっしょにのみこんでくれました。
- ・三人のしいくいんさんにおさえてもらって、ちりょうをしました。



- (2) 養護教諭にインタビューをして、「ほけんしつ先生」をまとめる。(8, 9/9時間)

木曜日には朝早くきて、フッそのじゅんびをして、みんなが虫ばにならないようにしています。休み時間には、けがをした子どものちりょうをしませす。びょういんへ行く大きなけがの時には、家の人に電話をします。きゆう食の時間には、アレギーの人が食べてはいないものを食べていないか調べます。

友達と、書くことを相談している様子

